



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,782	△0.7	723	△23.2	825	△19.4	477	△30.2
23年3月期第2四半期	9,847	△1.3	941	8.9	1,024	7.1	683	24.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 543百万円 (△3.4%) 23年3月期第2四半期 562百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.83	—
23年3月期第2四半期	25.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,043	12,639	66.4
23年3月期	17,844	12,425	69.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,639百万円 23年3月期 12,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	1,300	△12.5	1,400	△13.3	800	△20.5	29.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	29,748,200 株	23年3月期	29,748,200 株
24年3月期2Q	3,006,484 株	23年3月期	2,978,937 株
24年3月期2Q	26,750,758 株	23年3月期2Q	26,462,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、輸出や設備投資が減速し、個人消費についても急激に悪化する動きとなりましたが、サプライチェーンの復旧や自粛ムードの緩和、公的部門における震災復旧の取り組みなどにより、徐々に持ち直しの動きが進んでまいりました。しかしながら、国際的な金融市場の不安定化、急速な円高の進行、中長期的な電力不足問題など、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組むとともに、機能性食品素材「イヌリン」の拡販、新たな素材の研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,782百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益723百万円（同23.2%減）、経常利益825百万円（同19.4%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損75百万円など総額88百万円を計上した結果、四半期純利益は477百万円（同30.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント業績は、次のとおりであります。

① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高6,631百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益765百万円（同21.2%減）となりました。売上面では、夏場の電力供給問題からの前倒し需要があったものの、液糖を中心にその後の消費が伸び悩み、販売数量は前年同期比で減少いたしました。損益面では、販売数量の減少、原材料価格及びエネルギーコストの上昇などにより、前年同期比で減益となりました。

② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高2,844百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益43百万円（同9.8%増）となりました。売上面では、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が引き続き好調に推移した結果、前年同期比で大きく販売数量を伸ばしました。しかしながら、連結子会社ユニテックフーズ(株)のOEM関連事業が東日本大震災の影響による販売減等により、前年同期比で減収となりました。損益面では、イヌリンの増収による収益改善や各部門においてコスト削減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高306百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益265百万円（同2.4%減）となりました。本社ビルの一部が空室となったため、若干ながら前年同期比で減収減益となりましたが、安定収益の確保に貢献いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、19,043百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ19.5%増加し、8,626百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、10,417百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の減少等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ34.2%増加し、4,824百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ13.4%減少し、1,579百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、12,639百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、1,536百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、408百万円となり、前年同期に比べ160百万円(64.8%)増加いたしました。これは主に仕入債務が増加したこと、法人税等の支払額が減少したこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、303百万円となり、前年同期に比べ146百万円(93.0%)増加いたしました。これは主に投資有価証券の売却及び償還による収入が減少したこと等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、462百万円となり、前年同期に比べ36百万円(8.5%)増加いたしました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績動向等を勘案した結果、平成23年4月28日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成23年10月31日)に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,119	1,517,715
受取手形及び売掛金	1,750,397	1,715,587
有価証券	322,050	322,060
商品及び製品	1,220,131	1,782,088
仕掛品	127,079	166,101
原材料及び貯蔵品	1,284,726	1,676,029
その他	940,434	1,448,145
貸倒引当金	△5,368	△1,558
流動資産合計	7,215,571	8,626,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	725,433	698,459
機械装置及び運搬具(純額)	143,657	163,646
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	51,257	66,265
有形固定資産合計	2,969,183	2,977,206
無形固定資産		
のれん	1,009,765	955,771
その他	60,147	74,637
無形固定資産合計	1,069,912	1,030,409
投資その他の資産		
投資有価証券	3,927,798	3,998,166
関係会社長期貸付金	1,804,900	1,937,100
その他	955,007	558,948
貸倒引当金	△98,181	△84,776
投資その他の資産合計	6,589,523	6,409,438
固定資産合計	10,628,619	10,417,053
資産合計	17,844,191	19,043,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	809,033	1,466,780
短期借入金	1,826,364	1,863,693
未払法人税等	220,507	218,543
賞与引当金	114,914	112,314
役員賞与引当金	13,820	6,140
その他	609,044	1,156,872
流動負債合計	3,593,683	4,824,343
固定負債		
長期借入金	731,075	560,564
退職給付引当金	441,001	397,194
役員退職慰労引当金	133,899	133,573
資産除去債務	53,693	53,965
持分法適用に伴う負債	16,313	—
その他	448,602	434,256
固定負債合計	1,824,585	1,579,554
負債合計	5,418,268	6,403,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,249	2,524,249
利益剰余金	8,926,603	9,082,408
自己株式	△732,754	△741,210
株主資本合計	12,242,558	12,389,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,948	251,873
繰延ヘッジ損益	△3,583	△2,455
その他の包括利益累計額合計	183,364	249,418
純資産合計	12,425,922	12,639,325
負債純資産合計	17,844,191	19,043,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,847,982	9,782,116
売上原価	7,311,818	7,491,752
売上総利益	2,536,163	2,290,364
販売費及び一般管理費	1,594,370	1,566,889
営業利益	941,793	723,475
営業外収益		
受取利息	24,612	24,947
受取配当金	25,857	24,185
持分法による投資利益	61,122	72,428
その他	11,912	10,480
営業外収益合計	123,504	132,043
営業外費用		
支払利息	24,443	18,169
匿名組合投資損失	14,858	6,970
その他	1,674	4,385
営業外費用合計	40,976	29,526
経常利益	1,024,321	825,992
特別利益		
投資有価証券売却益	1,530	—
特別利益合計	1,530	—
特別損失		
減損損失	3,527	9,125
投資有価証券評価損	—	75,295
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	—
その他	2,092	3,736
特別損失合計	41,528	88,158
税金等調整前四半期純利益	984,323	737,833
法人税、住民税及び事業税	285,699	225,104
法人税等調整額	15,178	35,693
法人税等合計	300,877	260,797
少数株主損益調整前四半期純利益	683,445	477,035
四半期純利益	683,445	477,035

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	683,445	477,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121,651	64,925
繰延ヘッジ損益	638	1,128
その他の包括利益合計	△121,013	66,053
四半期包括利益	562,432	543,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,432	543,089
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	984,323	737,833
減価償却費	64,633	65,950
のれん償却額	53,994	53,994
減損損失	3,527	9,125
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,315	△2,599
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,750	△7,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,053	△17,214
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△49,141	△43,807
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,270	△326
受取利息及び受取配当金	△50,470	△49,133
支払利息	24,443	18,169
持分法による投資損益(△は益)	△61,122	△72,428
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,530	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	75,295
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	—
売上債権の増減額(△は増加)	△106,417	34,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	△322,750	△992,281
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,487	△2,697
仕入債務の増減額(△は減少)	131,161	657,746
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△39,331	100,280
その他	10,895	10,656
小計	654,222	575,694
利息及び配当金の受取額	77,130	76,480
利息の支払額	△21,114	△16,940
法人税等の支払額	△462,200	△226,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,038	408,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,671	△86,005
有形固定資産の売却による収入	—	45
無形固定資産の取得による支出	—	△21,650
投資有価証券の取得による支出	△628	△641
投資有価証券の売却及び償還による収入	96,435	—
長期貸付金の回収による収入	306,564	364,727
長期貸付けによる支出	△480,000	△560,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,300	△303,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	70,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△240,682	△203,182
自己株式の取得による支出	△1,366	△8,455
配当金の支払額	△264,642	△321,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426,691	△462,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	△571	△854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△336,525	△358,395
現金及び現金同等物の期首残高	2,754,291	1,895,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,417,766	1,536,775

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,572,429	2,959,610	315,942	9,847,982	—	9,847,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,132	788	555	8,476	△8,476	—
計	6,579,562	2,960,398	316,497	9,856,458	△8,476	9,847,982
セグメント利益	971,319	39,858	272,357	1,283,535	△341,741	941,793

(注) 1 セグメント利益の調整額341,741千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,631,270	2,844,440	306,406	9,782,116	—	9,782,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,756	310	555	7,622	△7,622	—
計	6,638,026	2,844,750	306,961	9,789,738	△7,622	9,782,116
セグメント利益	765,461	43,764	265,720	1,074,946	△351,471	723,475

(注) 1 セグメント利益の調整額351,471千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。